

## 19 事業名：菊の下葉落しノズルによる品質向上対策検証事業

### 要 約

ダニ類による菊への被害を軽減するため、下葉落しノズルを用いて住みかである下葉の除去を行いその作業性と効果について検証を行った。作業性については、1a当たり15分程度であり、手作業で行う場合に比べ格段に作業性は良いと考えられる。また、品質面については、出荷物での等級調査では、秀品率が向上していることから、今後の菊生産においてノズルの使用は品質向上に有効であると考えられる。

担当者：松本農業改良普及センター 水谷、安曇野市農政課 斉藤、JAあづみ農産課 茅野

### 1. 事業設定の背景と目的

ダニ類による菊への被害は、栽培農家が共通した課題として抱えており、少しでも解消することが求められている。そこで、ダニ類の住みかとなる下葉の除去を専用ノズルを使用して行い、出荷物の品質・作業時間について調査した。

### 2. 調査研究の内容

- (1)実施時期 平成25年7月～8月
- (2)実施地区 安曇野市穂高牧
- (3)調査研究方法
  - 1)作業時間 7月16日  
畝ごとの作業時間を計測
  - 2)品質調査 8月3日～8月11日  
出荷物の検査結果により昨年度との比較調査

### 3. 結果の概要及び考察

下葉落しノズルの作業時間については、品種により茎の硬さに差があり、畝によって作業時間に差が出た。1aの作業を行うのに概ね10～15分程度であった。また、100㎡処理するのに要した水量は100ℓであった。

出荷物については、秀品率が99.1%であり、ダニ類による被害での等級落ちはほとんど見られなかった。

本年は、5月～6月中旬が少雨傾向で推移したため、作業を実施するにあたり草丈が確保できていなかったため、7月の実施となった。本来であればダニ類の発生初期に作業を実施したい。

専用ノズルの使用により前年度より秀品率が上がっており、今後は専用ノズルの使用と防除暦にそった薬剤散布を実施することで品質の向上が図られる可能性が高い。

### 4. 成果の活用と今後の方向性

薬剤散布との併用による品質維持向上・部会での有効活用。

表1 出荷実績比較

年 度		24				25			
出荷量(本)		11,100				9,770			
等 級		秀		優		秀		優	
		数量 (本)	比率 (%)	数量 (本)	比率 (%)	数量 (本)	比率 (%)	数量 (本)	比率 (%)
長さ (cm)	75	3,110	38.7%	600	19.5	4,800	49.6	0	0.0
	70	4,460	55.5%	1,850	60.3	3,880	40.1	90	100.0
	65	250	3.1%	220	7.2	670	6.9	0	0.0
	60	210	2.6%	400	13.0	330	3.4	0	0.0
合計		8,030	—	3,070	—	9,680	—	90	—
秀品率(%)				72.3				99.1	



検証圃場全景



作業状況 1



作業状況 2



除去後